

かみのかわ

# 議会だより



Kaminkawa



夏祭り

No. 142

平成23年8月

編集発行

上三川町議会広報調査特別委員会

〒329-0696

栃木県河内郡

上三川町しらさぎ一丁目 番地

TEL 0285(56)9161

## 今月の内容

5月臨時会	2
6月定例会	2
研修・表彰等	3
ここが聞きたい一般質問	4～10

### 5月臨時会・6月定例会

# 全議案を原案可決

## 定例会

平成 23年 第3 回 町議会 定例会を 6月 14 日から 21日まで、8 日間の会期で開きました。日程は次のとおりです。

- 14 日 条例・人事案件等上程及び一部採決・委員会付託
- 15 日 一般質問
- 16 日 一般質問
- 17 日 常任委員会審査
- 18 日 休会
- 19 日 休会
- 20 日 委員会報告書作成
- 21 日 常任委員会審査結果報告及び採決

### このよひなことが決まりました

## 同意

固定資産評価審査委員会委員の選任  
7月31日に任期満了となる上野光良氏（大字坂上）の再任に同意しました。

人権擁護委員の推薦  
9月30日に任期満了となる大橋佳夫氏（大字多功）の推薦に同意しました。

## 条例制定・改正

上三川町税条例の一部を改正

東日本大震災に係る地方税法、同施行令及び施行規則の改正が公布、施行され、大震災による資産の損失等に対する雑損控除等が認められることになったため改正します。

## その他

栃木県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び栃木県市町村総合事務組合規約の変更  
栃木県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少及び栃木県後期高齢者医療広域連合規約の変更  
上都賀郡西方町が栃木市へ合併することに伴い、栃木県市町村総合事務組合並びに栃木県後期高齢者医療広域連合の組織及び規約の変更について協議するため議決したものです。

栃木県後期高齢者医療広域連合議会議員の選出  
前町長の任期満了に伴い、栃木県後期高齢者医療広域連合議会議員として、星野光利町長を選出しました。

## 補正予算

一般会計（第2号）  
本郷小学校及び上三川中学校耐震補強・大規模改修事業に伴う、国庫補助金の内示が遅れ、年度内に工事が終了しないことから、翌年度までの工期を確保するため、繰越明許費を認める補正です。

## 臨時会

東日本大震災に係る補正予算等を審議するため、平成 23 年第 2 回 町議会 臨時会を 5 月 12 日に開催しました。

## 補正予算

一般会計第1号（  
1 億 4 0 6 万 5 千 円 を 増 額  
東日本大震災による被害に早急に対応するため、災害復旧・災害支援に係る経費の補正です。

## 承認

平成 22 年度 一般会計 補正予算（第 4 号）専決処分  
平成 22 年度 公共下水道事業 特別会計 補正予算（第 3 号）専決処分  
東日本大震災により損壊した公共施設を、早急に復旧するための補正予算の専決処分を承認する。

## 報告

平成 22 年度 一般会計 予算繰越明許費 繰越計算書  
平成 22 年度 一般会計 予算繰越明許費 繰越計算書  
平成 22 年度 公共下水道事業 特別会計 予算繰越明許費 繰越計算書  
平成 22 年度 水道事業 会計予算 繰越明許費 繰越計算書  
年度内に完了しない事業の繰越を定めた。

## 陳情等

東日本大震災による福島第 1 原子力発電所災害に伴う停電、放射性物質による被害に対する補償等の陳情  
東日本大震災による福島第 1 原子力発電所災害に伴う停



電、放射性物質による被害に  
対する補償等の陳情書  
それぞれ採択し、意見書を  
国の関係機関に提出します。

### 議長・副議長研修



平成23年度町村議会議長・  
副議長研修会が、5月17日・  
18日の2日間、東京都港区の  
メルパルクホールで開催され  
ました。

上三川町議会から関根豊議  
長、稲見敏夫副議長が参加し、  
「地域力創造と地域おこし」、  
「二元代表制と議会の価値」  
など、いろいろなたまらなつ  
ついで、「町村議会だからでき  
る」ことについて研修を受け  
てきました。

地方分権に伴い、地方自治  
体の権限や業務が増大し、議  
会として判断すべき重要事項



研修会

も益々増えてくることから、  
議員個々のレベルアップを図  
ることが重要となつてきてお  
り、このような研修機会には  
積極的に参加しております。

### 栃木県町村議会 議長会会長へ就任

平成23年6月21日に開催さ  
れた栃木県町村議会議長会定  
例会において、関根豊議長が  
栃木県町村議会議長会会長に  
選任されました。

任期は7月1日から1年間  
であり、その間、栃木県町村  
議会議長会の代表として活動  
します。  
栃木県町村議会議長会は、



関根豊 議長

町村議会の意見・要望の取り  
まとめや、議員資質の向上を  
図ることを目的に組織され活  
動しています。

### 全国町村議会 議長会表彰

全国町村議会議長会定期総  
会において、自治功労者とし  
て、松本清議員が表彰されま  
した。

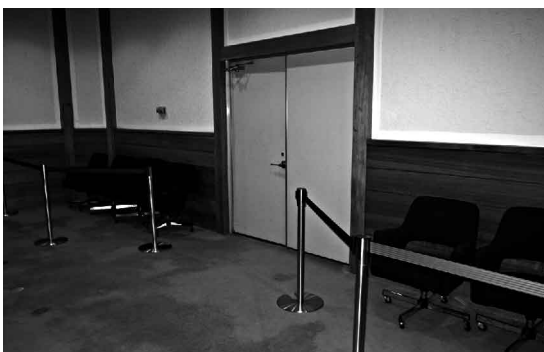
松本議員は、平成8年の初  
当選から、多年にわたり地域  
の振興発展に寄与された功績  
が認められ、表彰されたもの  
です。



松本清 議員

### 議会全員協議会 の傍聴

議会全員協議会が平成23年  
8月から傍聴できるようにな  
りました。傍聴の仕方や注意  
事項は、本会議の傍聴と同じ  
です。  
開催日程等については、議  
会事務局にお問い合わせくだ  
さい。



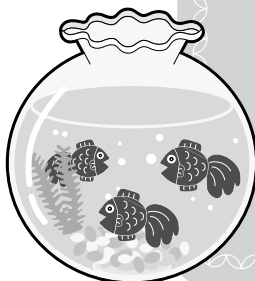
全員協議会室 傍聴席

### 議会を傍聴してみませんか

町の重要な施策や、皆さんの身近な問題が審議されますので、  
ぜひお越しください。

9月定例会は、9月2日(金)からの予定です。

問い合わせ先：上三川町議会事務局 電話(56)9162



# 6 名の議員が質問

紙面の内容は、質問・答弁とも質問者自ら要約、執筆したものを掲載しています。

宮崎 哲 議員

- ・ 町長の政治姿勢
- ・ 「かみのかわ元気アップ」

勝山修輔 議員

- ・ 大規模改修・耐震工事及び行政改革

生出慶一 議員

- ・ 公共交通
- ・ 福島原発事故の対応
- ・ 東日本大震災

北山トヨ 議員

- ・ 子育て支援
- ・ 学力県下の学校支援
- ・ 先端教育機器の導入
- ・ 教育環境の整備
- ・ 公共施設の利便性強化

稲葉 弘 議員

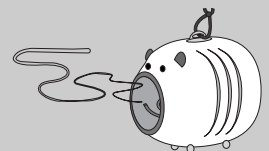
- ・ 町長の公約
- ・ 東日本大震災
- ・ 福島第 1 原発事故
- ・ 防災計画の見直し

津野田重一 議員

- ・ 防災体制
- ・ 節電対策

ここが聞きたい

一般質問



### 町長の政治姿勢について

問 所信を伺います。

答 町長 町長就任に当たつての所信を申し上げます。総合計画の基本理念にあります「より安心・安全で活力のあるまち上三川」は、私が理想とするまちづくりそのものであると思っております。

うなまちづくりであります。町民の皆様に対して誠実な心構えで、謙虚さを忘れず、感謝の気持ちを持って、上三川町の無限大に広がる発展の可能性を現実のものとするため努力する所存でございます。

### 「かみのかわ元気アップ」大作戦について

問 (1) 「学校に監視カメラを導入し防犯対策強化」とありますが、上三川小学校に優先でカメラの設置を提案しますが、その考えを伺います。

答 町長 学校関係者の要望や意見を拝聴し優先順位、財政事情を勘案しながら安心・安全で快適な学校整備を図つてまいりたいと考えております。

問 (2) 「学校をはじめ、公共施設に洗浄便座付洋式トイレを導入します」とありますが、公共施設、建物と公園に幼児用便座の設置を提案しますが、考えを伺います。

答 町長 子育て支援や公共施設の利便性の向上のためには必要なものでありますので、



幼児用トイレ

思いますが考えを伺います。  
答 町長 災害弱者を守るには、地域防災組織が重要であり、コミュニティの組織化が確立したものにすれば地元と協議を行いながら、計画的に進めていきたいと考えております。

問 (4) 「6次産業化への取り組みについて」生産・加工・販売までの付加価値を伴う事業とは何か、考えを伺います。

答 町長 町内の生産者と製造加工業者や販売小売業者が有機的に連携し、町内産農産物を活用した商品開発や販路開拓等につながり、活用化が図れるよう努めてまいりたいと考えています。

問 (5) 「水道料金の基本料金を10㎡から5㎡に引き下げます」とありますが、いづころ実現できるか伺います。

答 町長 基本水量や基本料金の見直しにつきましては、上三川町水道料金審議会に諮問し、答申を受け、平成24年度をめどに料金改定を検討し



水道

てまいる考えです。試算としては、基本料金を5㎡、1千470円の半額735円に設定する、このような変更を考えているところです。

問 (6) 「新たな情報配信システム導入等の支援とは何か」について伺います。

答 町長 「新たな情報配信システム導入等の支援とは何か」については具体的には、あらかじめ利用登録された方の携帯電話やパソコンに町の情報を配信するというような電子メール配信サービスなどを想定しております。



宮崎 哲 議員



コミュニティセンター



## 勝山 修輔 議員



## 大規模改修・耐震工事及び行政改革について

**問** 大規模改修工事、耐震工事についてお尋ねいたします。設計監理ということで、たくさん税金が費やされておりますが、この設計監理の某社というところが、どうにも腑に落ちないのです。

**答** 最初につくった会社が某社だとします。その会社が手抜き工事をしました。今度は法律が変わりました。耐震は震度7にしなればいけないというので耐震をやりました。それについて国から補助が出たので大規模改修工事をしました。先日、上三川は震度5強でした。つくったばかりでまだ完成はしていないのです

が、つぶれることはありませんでした。しかし、壁に亀裂が入ったりしてまた修理代がかかります。

**問** 今度また耐震工事をするとき、「もう二度と某社はこないのでしょうか？」と言ったら、課長は、「出てくるでしょう」ということでした。ねつくった人がずっとつくらねばならない何か既得権というのがあるのですか。

**答** この町に指名業者選定委員会というものがあるそうです。この委員長が副町長です。そこに入っている委員は課長です。5、6名いるでしょうか。指定管理者も副町長が委員長だそうです。町長、よく聞いてください。町長ではなく副町長なのです。その委員に、また課長たちが入っていると、それが民間委託する会社を選定される。副町長はすべての権限を1人で掌握して、選定委員会や民間委託の委員会は、小山市や栃木市、宇都宮市では、弁護士、計理士、大学教授で、職員は2人か3人です。ですが、上三川町はすべてが副町長のところに権限が集まっているので、私は副町長に「町長選に出たらどうですか」と言いたいくらいです。

**問** 副町長 指名業者選定の手続きにつきましては、まず、発注原課から指名推薦業者一覽、及び工事費内訳書を添付した入札依頼書が提出される

ところでございます。そして、月2回、指名選考委員会を開催いたします。委員の2分の1以上が出席しまして、出席委員の過半数で議事を決定いたします。そういうところから、副町長が一存で業者を選定できるということについては当たらないご指摘かと思っております。

**問** なお、指定管理者の選定委員会につきましても副町長が会長ということになっておりますが、その前に実務者レベルの審査会を設定しまして一次の審査を経たものが指定管理者候補者として選定委員会のほうに上がってくるわけでございます。

**問** 再質問しますが、副町長が副町長になる前からこれがあつたということは、ずっと悪しき慣習をやってきたことと私は認識しますが、どうですか。

**答** 副町長 悪しき慣習とは思っておりません。適正な制度であるというふうに信じているところでございます。

**問** あなたが言うように適正だと言つならば、弁護士、計理士、学者、大学の先生、そういう方でやってもらつたらいかがですか。

**答** 副町長 事務の迅速性、あるいは効率性などを考え、今の方法が一番合理的だと考えているところでございます。

**問** ほかの行政がやっていることを我が町はやらないということでしょうか。

**答** 副町長 当分の間、この制度を続けていきたいと考えております。なお、お時間をいただきます。ほかの町村がどんなシステムでやっているか、それについても研究検討をしていきたいと思えます。

**問** そうすると、あくまでも既得権は放さないという意見に私が取つてもよろしいですか、副町長。

**答** 副町長 既得権とはとら

えておりません。こういう立場を利用して不正をするとか、私的にどうのこうのということは一切ありませんので、定められた職責を厳正・公正、忠実に執行してまいりたいと考えております。

**問** そのように思っているのが副町長、あなた1人だとうしますか、お答えください。

**答** 副町長 いまだかつて、私が、ご指摘のようなことをしているとか、そういう非難をされたこともないし、そういうことはもちろん一切しておりませんので、そういうことは当たらないと思えます。

**問** では、副町長にお聞きしますが、あなたは税金のむだ遣いの元凶だということを認識したことはございますか。

**答** 副町長 税金のむだ遣いの元凶というのはちよつと理解できませんので、答弁は差し控えたいと思えます。

公共交通

問 宇都宮～上三川バス路線の運行経路変更について・上三川町役場(いきいきプラザ)の停留所変更についての考えは。

答 企画課長 現在の路線には停留所が3カ所あり、現に利用者もおりますので、現状では困難であると考えております。

問 バス利用者数の把握はされているか・各路線別の運行本数と時間帯の把握について。

答 企画課長 本町内の路線バスにつきましては、上三川車庫前から駒生営業所までの5路線が運行されております。

まず、利用者の人数でございますが、上三川車庫前から駒生営業所までの路線は4系統ございまして、このうち2系統につきましては、町から生活バス路線維持費補助金を補助しておりますので、事業者から輸送人員の提出がされております。平成21年10月1日から1年間の輸送人員は3万6,291人でございます。

そのほかの路線等の輸送人員につきましては提出されておりません。次に、各路線別の平日の運行本数及び時間帯でございますが、上三川車庫前から駒生営業所までの路線は1日往復各9便で、時間帯は6時20分から20時5分まででございます。本郷台西汗車庫から駒生営業所までの路線は、本郷台西汗車庫が8便、本郷台西汗車庫着が6便で、6

時17分から21時55分まででございます。東汗から駒生営業所までの路線は往復各4便で6時57分から19時17分まででございます。真岡車庫から石橋駅までの路線は往復各15便で、6時15分から20時33分まででございます。

福島原発事故への対応

問 放射能濃度の測定は。

答 住民生活課長 県が主体となり実施され県有施設等7カ所で測定されております。

問 子供たちへの安全対策について。

答 教育総務課長 本町小中学校においては0.11マイクロシーベルトから0.14マイクロシーベルトと、県内でも非常に少ない値となっております。今後とも公表される測定結果を把握しながら、子どもたちの安全な生活に努めてまいりたいと考えております。

問 住民からの汚染等の問い合わせ状況及び対応は。

答 住民生活課長 一部町民の方から、身近なポイントの数値が知りたいとの要望により、毎日1回町内8ヶ所で測定をしており、結果につきましては町のホームページで毎日更新しております。

問 農産物等の被害に対して町の損害賠償請求の考えは。

答 産業振興課長 現在町としては損害賠償請求は考えておりません。

問 他県からクリーンパーク茂原への搬入時の安全確認は。

答 住民生活課長 本日現在でクリーンパーク茂原に他県から東日本大震災の廃棄物の受け入れは、ございません。委託要請される可能性が残りますがその際には、受入条件の中に、除染、放射能管理を徹底するよう、事業主体であります宇都宮市に対し要望してまいります。

東日本大震災について

問 今回の災害を教訓とした防災対策についての考えは。

答 総務課長心得 県の防災計画の見直しに合わせまして本町の防災対策を進めてまいりたいと思っております。

問 公共施設の節電対策の効果の予測は、どれくらい。

答 総務課長心得 庁舎におきましては、既に3月11日の大震災後、執務室や会議室の照明の間引き、必要以外の照明の消灯、その他の使用制限などの対策を行い、先月5月では、前年と比較しまして最大で19%の削減を行うことができました。

問 災害を子どもたちに語り継がせる教育のあり方について。

答 教育総務課長 学校においては、地道であります。子どもたちの避難の体制を整えることが、まず第一と考えております。今回得た経験や危険について語り継ぎ、身を守る方法など、自分の命は自分で守るという大原則を学ぶ機会を十分に設けるなど、学校における防災教育をこれまでに以上に積み重ねていくことにいたします。



生出 慶一 議員



路線バス(上三川役場入口)



北山 トヨ 議員



### 子育て支援

**問** 国の補助金もあてにならないこの時代に、新町長には八コモノ行政をやめていただき、子供の時代につけを回さない、子供たちに借金を肩代わりさせない行政を心からお願い致します。具体的な子育て支援のお考えをお伺いいたします。

**答** 町長 子育て支援センターの設置、学童保育を6年生までに、放課後子ども教室をあと2つ開設を進めていく考えです。

### 学力県下一の学校支援

**問** 学力県下一を目指すという公約ですが、何を基準に



授業風景

して学力県下一というのか、どういう方法で、いつ実施したら、いつ県下一になるのか、具体的に伺います。

**答** 教育長 教職員の資質、生活習慣、教育環境の3つが大切と考えています。研修、家庭との連携をしっかりと行っていきたくと考えています。

**問** 町長の公約は芝生・監視カメラ・洗浄機つき便座と設備のことばかりに偏っているように感じますが、宇都宮市などの土曜日の授業はどうお考えでしょうか。

**答** 教育長 土曜日の授業は行いません。

**問** 町長公約の学力県下一の

ために、土曜の授業をやるうとはお考えになりませんか。

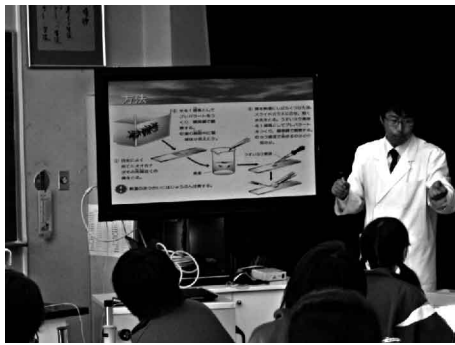
**答** 教育長 行わなくても、しっかりと力をつけていきま

### 先端教育機器の導入

**問** 現在学校にある大型テレビ、パソコン・電子黒板等は十分に活用されているのでしょうか。

**答** 教育総務課長 活用されています。

**問** 公約の先端教育機器とは具体的に何を考えているか、どういう予算で導入するのかお伺い致します。



電子黒板

**答** 教育総務課長 国庫補助関係がICT事業も今回で打ち切られているので、5年リースのパソコンを新しいものに更新していくことになりました。

### 教育環境の整備

**問** 公約の教育環境の整備を具体的に伺います。

**答** 町長 耐震補強、大規模改修工事、先端機器、安全(監視カメラの設置など)、美化(芝生など)を推進していくつもりです。



耐震補強工事

洗浄便座付洋式トイレを導入するということですが、予算はいくらとお考えになって公約したのででしょうか。また、実施時期についても、お伺い致します。

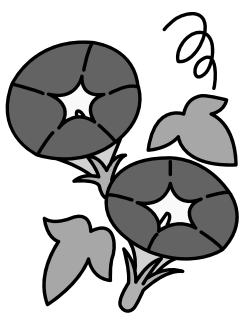
**答** 総務課長心得 予算を十分に検討して計画的に配置していく考えでございます。

**問** 町長の公約の中の、今までお聞きしたすべての予算の合計と、捻出先の明快なお答えをお伺い致します。

**答** 副町長 町長の公約は、北山議員のご質問の5つ以外にも33項目に渡ります。それらをこれから検討致します。公約実現のための手順を検討して、来年度と再来年度の計画については、夏ごろに各課の聞き取りをして計画してまいります。

### 公共施設の利便性強化

**問** 学校をはじめ公共施設に







稲葉 弘 議員



〔答〕 町長 「公共交通のあり方検討委員会」において、現在、調査研究を進めていると

〔問〕 巡回バスの見直しについてのようになっているのか。

### 町長の公約



巡回バス

ところでございます。この「公共交通のあり方検討委員会」から本年10月をめどに報告が出される予定です。この報告を踏まえまして、本町における今後の地域公共交通整備計画を策定し、関係機関との調整等を図り、効率性や利便性の高い地域公共交通の確保に努めたい。

〔問〕 水道料金を10㎡から5㎡に変更する、値下げの手立ては。

〔答〕 町長 基本水量や基本料金の見直しにつきましては、上三川町水道料金等審議会に諮問し、平成24年度をめどに料金改定を検討していきます。

〔問〕 24年度に料金改定した場合、対象者数と財政的に幾らかうらの負担になるのか。

〔答〕 上下水道課主幹 10㎡以下の対象者については、2千215件。年間で約1千400万円の料金が減額となります。

### 東日本大震災

〔問〕 住宅の復旧修繕に対する

支援金、あるいは助成金の考えはないのか。支援金の場合、鹿沼市が行っているように、住宅リフォーム制度の考えはないのか。

〔答〕 都市建設課長 本町におきましては、被災された方々の住宅修繕にかかる費用の負担軽減を図るため、金融機関からの住宅再建等の借入額に對しまして、5年間を限度に1%の利子補給事業を、現在実施している。本町としては、被災住宅等利子補給事業を、支援助成事業といたしまして、被害を受けられました方々の初期負担の軽減を図ってまいりたい。

### 福島第一原発事故

〔問〕 学校、幼稚園、保育園、公共施設における放射線量を独自に測定する考えはないのか。測定を町のホームページでの公表の考えは。異常があった場合の対応は。

〔答〕 住民生活課長 町民の皆様により一層の安心・安全を担保し、さらにご心配を払拭するような意味から、6月7日から独自に町内の空間放射

線量の測定を開始している。昨日までの測定の結果、最小で0.09マイクロシーベルト/h、最大で0.15マイクロシーベルト/hということで、国の基準を大きく下回っている。測定箇所は、町内の公共施設8ヶ所。高さにして50mと100m、両方の2点を住民生活課の職員が携帯型サーベイメーターにより、一日一回、測定している。基準値より高い放射線が測定された場合、管轄である県東環境森林事務所とも調整の上、再測定を含めて迅速に対応していく。



放射線測定器

〔問〕 町内10校の小中学校、保育園、幼稚園、学童保育における放射線物質の調査の考えは。家庭や庭園における土壌調査。プールのヨウ素やセシウムの検査の考えは。

〔答〕 住民生活課長 当面、現在の8ヶ所というのは、上三川町内を4キロ四方のメッシュで切りまして、とりあえず測定をしておこうという趣旨でございます。土壌とかプールのについての検査方法については、8ヶ所の空間放射線量の推移を見ながら対応、研究していきたい。

### 防災計画の見直し

〔問〕 原発の事故を受け、町の防災計画の見直しの考えは。

〔答〕 総務課長心得 現在、国におきましては、今回の東日本大震災を踏まえ、原子力災害の基準を見直ししてあります、町地域防災計画も県と協議しながら見直しを考えていく。



津野田 重一 議員



### 防災体制

**問** 地域の自主防災組織の育成や活動の推進を積極的に取り組んでもらい、高齢者、障がい者のための防災マニュアルの整備が必要ではないか。

**答** 副町長 高齢者や障がい者などの、いわゆる災害弱者の避難誘導につきましても、身近にいます地域の皆さんで協力し合って助け合うことが必要になります。このようなことも含めまして、地域の自主防災組織の育成が急務となっておりまして、自治会、あるいはコミュニティの方々や協議を重ねながら、一日も早く体制を整えてまいりたいと考えております。

**問** 地域の防災計画に基づき、各職員が的確に対応できるように、各課、各班の所管を明確にしておくことはもちろんのこと、従事する職員が行うべき業務内容、手順等を示した全職員の活動マニュアルの整備、及び定期的な防災訓練が必要ではないのか。

**答** 副町長 すべての部署において、マニュアルが作成されているわけではないので、早急に点検を行い、不備なところがあれば整備をしてまいりたいと考えております。また、訓練を行うことも非常に重要なことですので、マニュアルを整備した後は、定期的な訓練を実施してまいりたいと考えております。



防災訓練

**問** 登下校時に大震災があった場合には、どのように対処するのかお聞きします。

**答** 教育総務課長 登下校に関しては、当然、集団での移動をかけるので、避難でき

る場所を、あらかじめどこにするか探しておいてくださいということ、各学校に通知したところであります。

**問** 町民の生命、財産を守るのが行政の務めであり、私の今までの質問の趣旨をよく理解し、星野町長のもと、災害の少ない町だけではなく、災害に強い上三川町を町民ともどもつくってまいりたいと思います。町長のお考えを伺います。

**答** 町長 さまざまなご意見、ご提案、いろいろありがとうございます。私も、「より安心・安全なまちづくり」ということで、それを重要テーマとしております。今、いろいろいただいたご提案等々を踏まえまして、災害に強いまちづくり、まだ未整備なものはこれから早急に前向きに取り組んでいきたいと思っております。

### 節電対策

**問** 節電対策ということで各家庭も15%。そうすると、高齢者の方はかたいですから、エアコンもつけない、扇風機もつけないとか、余り節電し

過ぎて熱中症になると大変なことになりますから、その辺はどのように対応しているのですか。高齢者等の節電と熱中症対策について

**答** 保険課長 町では、在宅支援センター等で、ひとり暮らしとか両老世帯について定期的に回っていたら、なるべく、無理をしないで、節電といってもお年寄りの方は真面目ですので、クーラーとか扇風機とかをつけないで我慢する方もいると思っております。そこら辺のところは、そういう方に回っていたら、適量にやってもらえるように努力したいと思っております。



電気メーター